

お知らせ

甲状腺分化型乳頭癌におけるSrc family members及び癌幹細胞マーカーの発現の検討

1. 研究の対象

1997年1月～2006年12月に当院で甲状腺癌の診断・治療を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

甲状腺分化癌は概して転移・再発が少なく予後良好であるが、約10%の患者では転移・再発を起こす。そのような症例には、手術療法や放射線療法（¹³¹I 内用療法）が行われるが根治は難しい。さらに、約数%の患者では未分化転化を起こし、極めて急速に癌死に至ることが知られている。近年、甲状腺癌組織におけるSrcシグナル伝達の促進が報告されている。当科において、甲状腺低分化・未分化癌においてSrcシグナル活性亢進していることは既に示している。今回は、甲状腺分化癌組織におけるSrc family members 発現や癌幹細胞マーカーと臨床病理学的な特徴や予後との関連を検討したい。実施期間は2016年8月8日～2018年8月7日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録や病理検査所見（年齢、病期、腫瘍径など）を集めて行う観察研究です。試料は、摘出された原発甲状腺癌組織です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

病 院 名 : 川崎医科大学附属病院
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
病院電話番号 : 086-462-1111 (内線 44373)
電子メール : kure@med.kawasaki-m.ac.jp
研究責任者 : 川崎医科大学乳腺甲状腺外科学 教授 紅林 淳一

5. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ(株)、中外製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、エーザイ(株)、武田薬品工業(株)より、奨学寄付金の受け入れ、および武田薬品工業(株)より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されている。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業である。